



紹介店舗・施設

喫茶フローラ	小馬出町123	TEL. 0761-21-0103
小松市立稚松小学校	殿町2-7	TEL. 0761-22-8571
YUIMARL	松任町56	TEL. 0761-24-2229
CLUTCHキモノ店	松任町30-2	TEL. 080-6368-3678
小松市立宮本三郎美術館	小馬出町5	TEL. 0761-20-3600
小松市立空とこども絵本館	小馬出町10-3	TEL. 0761-23-0033
小松市立図書館	丸の内公園町19番地	TEL. 0761-24-5311
キッチン&カフェほんだ	大川町2丁目65	TEL. 0761-27-1303
つじジムキ	小馬出町6	TEL. 0761-21-2323
小松市立博物館	丸の内公園町19番地	TEL. 0761-22-0714

表紙：開いた数冊の本が、隈取をした歌舞伎役者の顔に見える様にイメージしたアイキャッチ。こまつオルワ'sの活動が未来型図書館を通じて、今後『小松の文化・歴史を楽しく綴っていったら』との想いを込めたデザインとしました。

発行：小松市 編集：図書館エディター こまつオルワ's（令和5年12月発行）

お問い合わせ：市長公室未来型図書館づくり推進チーム
小松市小馬出町91番地 TEL. 0761-24-8042



こまつを綴る

KOMATSU WO TSUZURU



図書館エディター こまつオールワ'sの活動紹介

図書館エディター 養成講座について



養成講座の様子

未来型図書館の開館を見据え、企画・運営を支える人材育成のため、令和4年度より子ども司書や図書館エディターを養成しています。

図書館エディター養成講座については、小松市の「ヒト・モノ・コト」に目を向け、地域コンテンツの編集や発信方法を学ぶため、図書館と地域をむすぶ協議会チーフディレクターの太田剛さんを講師にお迎えし、講座を開催しています。令和4年度の講座では、編集の基礎やコラムの書き方、インタビューの方

法、上手なカメラの撮影方法など、地域情報の編集・発信を行うための様々なスキルについて学びました。インタビューについては、実際に小松駅周辺の店舗へ取材に行き、各店舗の歴史や魅力などについてお聞きし、コラムにまとめました。半年間の講座を経て、22名の図書館エディターが誕生しており、令和5年度も20名が養成講座を受講しています。

講師を務めて いただいている 太田剛さん について

編集工学の
スペシャリスト!

講師
太田剛さん



1965年和歌山県生まれ。高校理科教員を経て、1990年に編集工学研究所に入社。メディア制作から文化イベントの企画・施行、企業の事業戦略や自治体の観光戦略・地域おこしなど幅広いプロジェクトを統括。2012年には編集工学機動隊GEAR(株式会社ギア)を設立。

また、北海道幕別町図書館の図書館改革を契機に「図書館と地域をむすぶ協議会」を設立。栃木県茂木町「ふみの森もてぎ」や高知県梶原町「雲の上

の図書館」、宮崎県椎葉村図書館「ぶん文Bun」などの新図書館建設や、既存図書館の改革など、図書館を地域づくりの核として位置づけ、持続可能な地域社会モデルの構築に向けて全国を奔走中。

2019年からは、活字文化議員連盟「公共図書館プロジェクト」事務局長に就任し、未来に向けた図書館改革を推進中。

図書館エディター こまつオールワ's について



メンバーによる
活動の様子

令和4年度の講座を修了したメンバーを対象に、講座で学んだスキルを活かしながら様々な活動を展開していくため、「図書館エディターこまつオールワ's」というクラブを令和5年5月に結成しました。「こまつオールワ's」には、小松市では「〇〇にいるよ(存在)」ということ、方言で「〇〇におるわ」と言うことが多く、未来型図書館が誰もがいても良い場所、多くの人たちが頻繁に足を運ぶ場所、大切な仲間と一緒に過ごしたい場所、そういった場所であってほしいという願いが込められています。

現在、11名のメンバーで活動しており、企画会議を重ねてきた結果、今回、未来型図書館の立地場所として決定している「芦城公園周辺」の施設や店舗への取材を通じたマップやコラムの作成に取り組むことになりました。この冊子には各施設・店舗のインタビューの概要を掲載しています。また、「未来型図書館note」には、取材内容を詳しくまとめたコラムを掲載していますので、みなさま是非ご覧ください!

今後も様々な活動を展開していきながら、未来型図書館づくりの輪を広げていきます。

未来型 図書館づくり について



市民による
ワークショップの様子



小松市では、令和3年度より「わくわくする未来型図書館」の整備に向けたプロジェクトがスタートしました。令和3年度は、市民アンケートや各種団体との意見交換会をはじめ、専門家による講演会や市民ワークショップの開催、子どもたちからの絵画募集などを通して、未来型図書館のあり方の調査・研究を行いました。

令和4年度は、有識者等で構成する基本構想策定委員会や、市民ワークショップでの対話を通じて基本構想を策定しました。

令和5年度は未来型図書館に導入する機能や施設規模などの検討を進めており、年度内の事業方針のとりまとめに向けて取り組んでいます。また、7月には新たな対話と活動のプラットフォーム「こまつりビングラボ」をスタートさせ、市民共創による推進体制の構築にも取り組んでいます。

来年度以降には、基本計画を策定するほか、開館に向けてさらなる取組みを進めていきます。



1 喫茶
7日-7



① 上質レトロな店内から日本庭園を望み、自家焙煎珈琲やこだわりの手作りメニューを味わえます。幅広いジャンルの本も揃っています。**②** 芦城公園内にあることを生かした、自然の中の開放的な図書館。**③** 『沈黙の春』レイチェル・カーソン著／環境破壊が進む現代への警告！



2 小松市立
稚松小学校
(図書委員会)

①稚松小学校は、「女兒小学校」として開設され、今年で150年目を迎えます。元氣な挨拶がモットーで、楽しい会話に溢れる学校です。②明るい雰囲気、読書スペースが多く、親切な司書さんがいたらいいな。



③●委員長さん『ライバル・オン・アイス』吉野万理子著／主人公の努力する姿に大きな勇気をもらえます●副委員長さん『いみちえん!!』あさばみゆき著／主人公のとにかく友達想いのところに、深く感動しました●書記さん『注文の多い料理店』宮沢賢治著／楽観的かつ前向きに解釈する猟師の豊かな想像力が面白い!●書記さん『5分後に意外な結末』／読んでいくうちに恐怖感でゾクゾクできるし楽しめます

3 YUIMARL



①店先のハイビスカス、店内には緑とアクアリウム。自然や人の繋がりを大切に想う沖縄に惹かれた気さくな店主さんの心地よい美容院です。②本に興味のない人も立ち寄れるミスマッチな何かがある図書館。③『チーズはどこに消えた』スペンサー・ジョーンソン著／年代を問わないが考えさせられる本



4 CLUTCH
キモノ店



①古着の着物屋さんです。晴れ着から普段着まで着物をもっと気軽にお手軽に!をコンセプトに松任町の古民家でお店をされています。②地元の人でも観光で来た人も楽しめる施設になったら嬉しいですね。



5 小松市立
宮本三郎美術館



①昭和の石張倉庫とガラス張りの新館、その2つを繋ぐブリッジ。小松市出身の洋画家宮本三郎の作品と共に楽しみたいだけです。②散歩ついでに利用できるような小さな図書館が市内各所にほしいな。

③『チェクポ』イ・チュニ作／懐かしさを感じられる絵本。読み聞かせにも！



6 小松市立
空とこども
絵本館



①おやつもおむつ替えもねんねもまるごと受け止めてくれます。絵本のページをめくりながら、ゆったりとした気分で過ごせますよ。②市民のみなさんと一緒に様々な取り組みを行っていきます。③『私のことば体験』松居直著／素敵な言葉に癒されます。



8 小松市立
図書館 (みどり号)



①小松市の移動型図書館みどり号は「宝箱」。子ども達にわくわくしてお気に入りの本を見つけてもらい、興味や関心を広げてほしいです。②様々な人や、時代の必要に応じて変わることができる図書館。

③『本日は、お日柄もよく』原田マハ著／言葉の力が伝わる本です。

A photograph of a man dressed as Mario, wearing a red cap with a white 'M' and red overalls over a white shirt. He is smiling and waving his right hand. He is standing in front of a yellow building with a green roof.

9 キッチン&
カフェほんだ



①元八百屋の強み!! 昼はサラダバイキング、夜は焼き肉屋に、店頭には名物おやじの八百屋さん! さながら三毛作を目指すグッドカフェ。②兎にも角にも駐車場!! 場所は十分に確保出来るのかしら?! ③シェフは笠原将弘の著書で妄想! オーナーは『はらぺこあおむし』エリック・カール作／子どもによく読み聞かせていた1冊です



10 つじぎゅき



① 芦城公園真向い“つじジムキさん”
ショウウィンドウのペーパークラフトが
目印。笑顔一杯の女性店主がお迎えし
てくれます。② 一人の人生を取り上げる
“聞き書き本”コーナーを作って欲しい。
③ “致知”人間学を学ぶ月刊誌を30年
以上愛読しています。



11 小松市立博物館



①小松の歴史、北前船、九谷焼、小松の自然と石文化に関する資料を常設展示しています。小松について知るための施設です。②気軽に立ち寄れて、気軽に過ごせる図書館になってほしい。③『われに千里の思いあり』中村彰彦 著／前田利常の生涯をドラマ風に描いています。



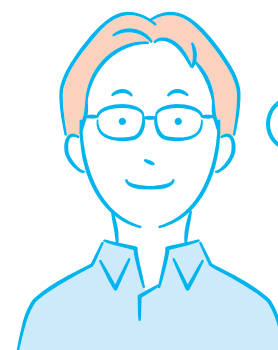
図書館エディター こまつオルワ's メンバーからの感想等。



好きな本は
『続 窓ぎわの
トットちゃん』

ひつじぐも

利用者のことを常に思ってお仕事をされている
絵本館職員さん。親子が過ごしやすい図書館で
あることに納得でした！



好きな本は
『聖の青春』

ふなっち

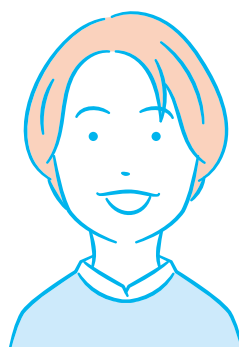
小松の歴史や遺産の奥深さに気づかされたイン
タビューでした。自分の住む町の歴史をあら
ためて学ぶ必要があると感じました。



好きな本は
『まいにち漢方～
体と心をいたわる
365のコツ～』

抹茶子

お店の職種が各々違っても要望や改善点には
小松を良くしたい！という熱い想い、地元愛が伝
わってきて元気をいただけます。



好きな本は
『コーヒーが冷めない
うちに』

ゆるり

どうせやるなら喜んでもらいたいというサービ
ス精神がいっぱいの中本さんのお話は、とても
魅力にあふれていました。



好きな本は
『本好きの下克上』

mf

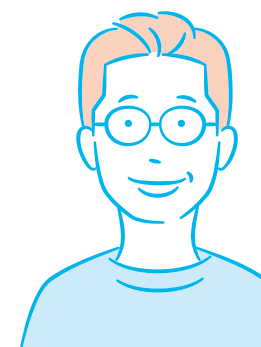
博識なマスターの絶妙な距離感が、フローラの
居心地良さを作り出していると感じました。興味
深いお話をありがとうございました。



好きな本は
『氷点』

たまき麻紀

貴重な時間を割いて頂き、沢山の熱い志を僅か
な文字数で表すことの難しさをひしひし…先ず
は、貴方も訪れて、雰囲気と味を御賞味下さい！



好きな本は
『漫画 君たちは
どう生きるか』

アポロ

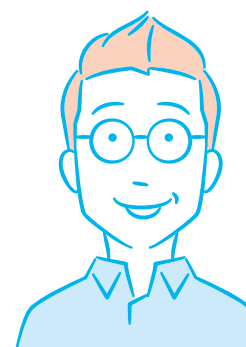
“縁尋機妙 多逢聖因”をお聞きし、人生は縁繋
ぎであり、周りとの関わり方や感謝について改
めて考える大切な時間となりました。



好きな本は
『センス・オブ・
ワンダー』

こまり

座談会の持ち時間があっという間に過ぎて、肝
心な事が聞けずじまいでした。準備の期間も含
めて貴重な機会を頂き感謝しています。



好きな本は
『舟を編む』

つじかっちゃん

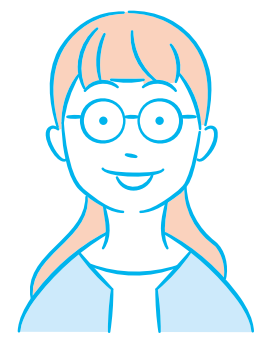
素晴らしい生徒さんを見て、これからの小松市
も安泰だと感じました。本が好きな子は、自分
のことも友達のことも大切に出来るようです。



好きな本は
『ハリーポッターと
賢者の石』

S.T

対応いただいた職員さんのお話に引き込まれ
てしまいました。まだまだ知らない小松市の事
をもっとたくさん知りたいと思いました。



好きな本は
『の』

takeda

お店のことやそれぞれの視点から見る小松の
現状、これからのこと、たくさんお話できてとっ
ても楽しかったです。